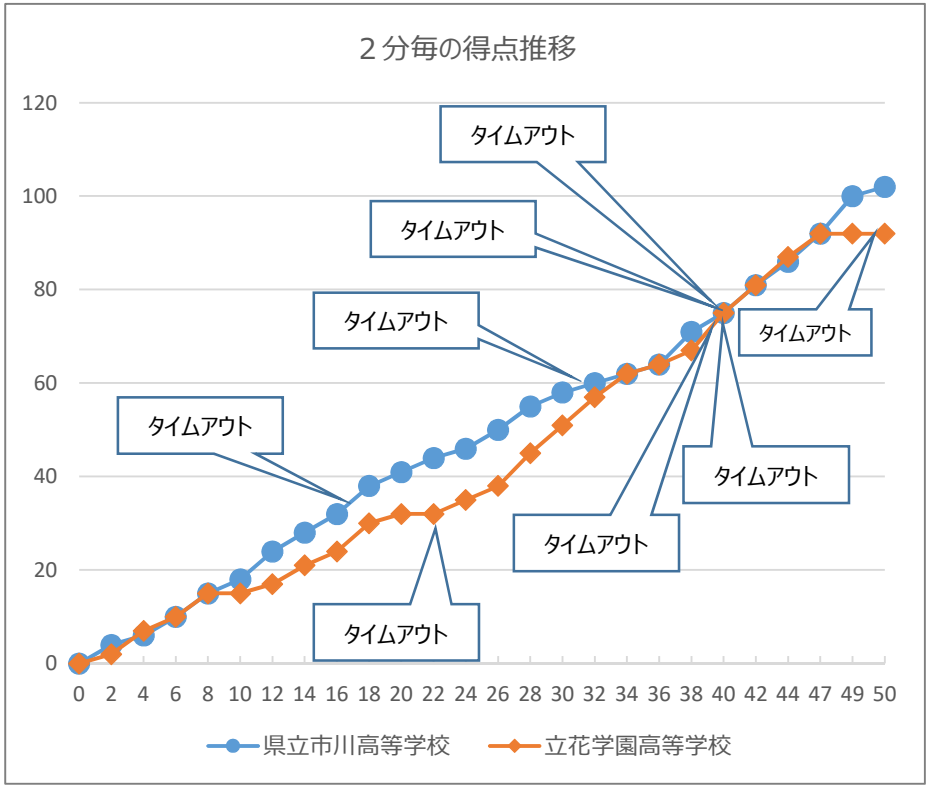
令和元年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第７３回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

令和元年6月1日（土）　Bブロック　１回戦　鐘山スポーツセンター総合体育館　Dコート　第4試合

チームA					チームB
県立市川高等学校（山梨県）	102	18	1st	15	92	立花学園高等学校（神奈川県）
		23	2nd	17		
		17	3rd	19		
		17	4th	24		
		27	OT	17		



Aチーム：　県立市川高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	0	松久保　音羽	46	1	5	17	19	9	16	4	9	13	22
2		1	吉井　隆人											
3		2	平嶋　悠人	3	0	0	0	0	3	4	3	4	0	4
4		3	薬袋　壱心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5		5	太田　仁											
6		6	相田　拓海											
7		7	藤巻　成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	*	8	中村　悠真	2	0	2	1	7	0	2	2	1	1	2
9	*	9	小林　優希	6	2	7	0	2	0	0	5	1	0	1
10		13	櫻井　廉											
11	*	16	鈴木　琉沙	8	0	1	3	5	2	4	3	7	4	11
12	*	17	小菅　音緒	12	1	5	4	12	1	6	5	0	5	5
13		18	天野　智裕	15	3	10	3	4	0	0	0	0	3	3
14		26	藤井　颯斗	10	2	4	2	4	0	2	1	0	1	1
15		27	佐野　颯	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0
HC/TEAM			吉川　仁									1	2	3
合計				102	9	35	30	55	15	34	24	23	29	52

Bチーム：　立花学園高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	紫村　仁	24	3	11	5	11	5	9	4	3	10	13
2		5	青木　宇優	24	8	15	0	1	0	0	2	1	2	3
3	*	6	奥村　太陽	10	0	0	5	11	0	1	5	8	2	10
4	*	7	神谷　立樹	10	1	2	2	6	3	4	5	3	3	6
5		8	伊藤　大陸	0	0	2	0	0	0	0	2	0	1	1
6		9	喜多　蓮汰郎	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
7		10	吉澤　尚哉	2	0	1	1	1	0	0	0	1	1	2
8		11	佐野　龍哉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9		12	尾上　愛音	0	0	1	0	1	0	0	0	4	1	5
10		13	永嶋　紘	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0
11		14	長岡　千太郎											
12	*	15	小池　優斗	18	6	20	0	5	0	4	1	5	2	7
13		16	箕輪　祐汰	0	0	0	0	3	0	0	3	1	0	1
14	*	17	古賀　愁基	4	0	0	2	3	0	0	3	4	5	9
15		18	豊田　汰一	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HC/TEAM			越智　淳											
合計				92	18	54	15	42	8	18	27	30	27	57

戦評

記載者：三澤　寛（山梨県高体連）

１Q:お互いディフェンスからブレイクでの展開となる。残り５分から立花学園のチームファールが重なり県立市川のフリースローの機会が増えるが決めきれず、お互いリズムが乗れないまま18-15県立市川リードで終わる。

２Q:県立市川は#0にボールが集まり得点を重ねていく、立花学園はブレイクから得点を重ねていくが、県立市川がディフェンスを2-3に変え仕掛けていく。その後も#0にボールが入り得点を重ねていく。立花学園は#5の3Pで対向するが徐々に得点が離れていく。前半終了し41-32の９点差で県立市川がリードで折り返す。

3Q:県立市川は3Pで得点を重ねていく。立花学園の#5の3Pが決まりだし、ディフェンスに変化を持たせながら徐々に点差を縮めていく。3Q終了して７点差まで立花学園は追い上げる。

４Q:#7、#15の3Pで同点に追いつく。県立市川は#0の得点、リバウンドで一進一退の攻防となる。残り２８秒で立花学園タイムアウトを取り、#10のシュートで２点リードとなるが、県立市川もタイムアウトを取り、その後のプレーで県立市川#0がインサイドで押し込み再度同点に追いつく。試合はオーバータイムに。

OT1:立花学園#4の得点と、県立市川#0の得点でお互い譲らないゲーム展開になる。５分でも勝敗がつかず２回目のOTになる。

OT2:県立市川が#18、#0と得点を重ね、立花学園も#4が得点するが最後は102-92で県立市川が勝利をした。会場からは両チームに大きな拍手が送られた。

主審	第１副審	第２副審
山﨑　敬次郎（千葉県）	穂川　苑子（群馬県）	小原　宏太（埼玉県）

No: 背番号　S:スターター　PTS:総得点　FG:フィールドゴール　FT:フリースロー　M:成功数　A:試投数　F:ファウル　OR:オフェンス・リバウンド　DR:ディフェンス・リバウンド　TOT:リバウンド合計数

山梨県高体連バスケットボール専門部